

GTFS-JP によるバス利用促進の可能性

～愛知県日進市の「くるりんばす」を事例に～

小林佑也 名城大学大学院理工学研究科社会基盤デザイン工学専攻
鈴木秀和 名城大学理工学部情報工学科
松本幸正 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科
小池健太郎 日進市役所市民生活部生活安全課交通対策係

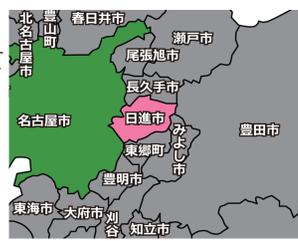
愛知県日進市とコミュニティバス「くるりんばす」の概況

日進市
「いつまでも暮らしやすいみどりの住環境都市」をめざして

地理 県中央部に位置する田園都市

人口 91,159人(2019年6月1日現在)

交通 くるりんばす, 名鉄バス, 高速バス
名鉄豊田線, 名古屋市営地下鉄鶴舞線



くるりんばす(日進市巡回バス)の紹介

運行時間 毎日7コース運行, 6:30～20:25

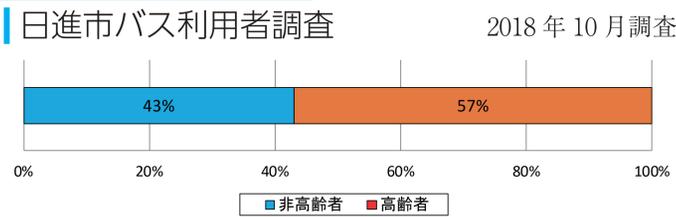
運行本数 平日11便(循環線のみ21便)
休日8便(循環線のみ21便)

運賃 1乗車200円(循環線のみ100円)
(中学生以下の子ども, 障害者等無料)



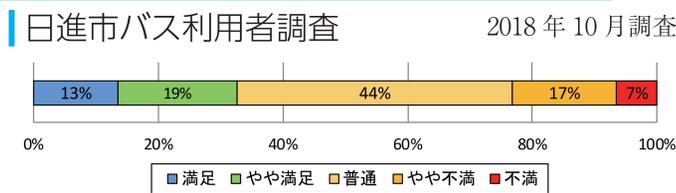
取組の背景と内容

「くるりんばす」の年齢比



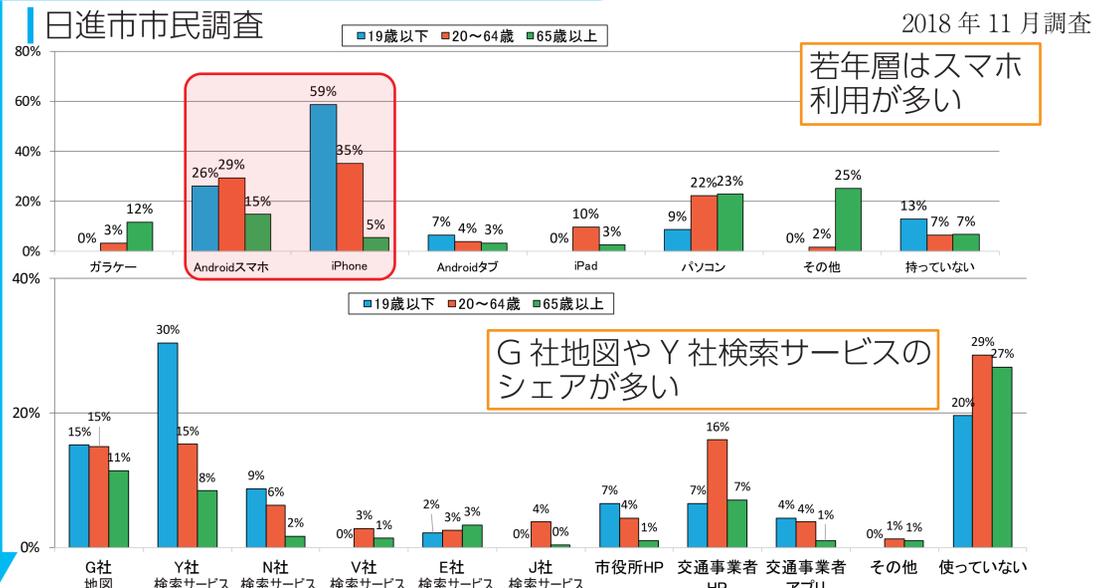
およそ半数が非高齢者(65歳未満)

路線図や時刻表のわかりやすさに対する満足度



約1/4が不満を持っている

様々な手段で路線図や時刻表を検索している



若年層はスマホ利用が多い

G社地図やY社検索サービスのシェアが多い

バス停名を知らないと検索できないサイトやアプリが多い

路線や時刻表の検索において GoogleMaps に経路検索や時刻検索の結果を反映できる GTFS-JP の整備は効果的

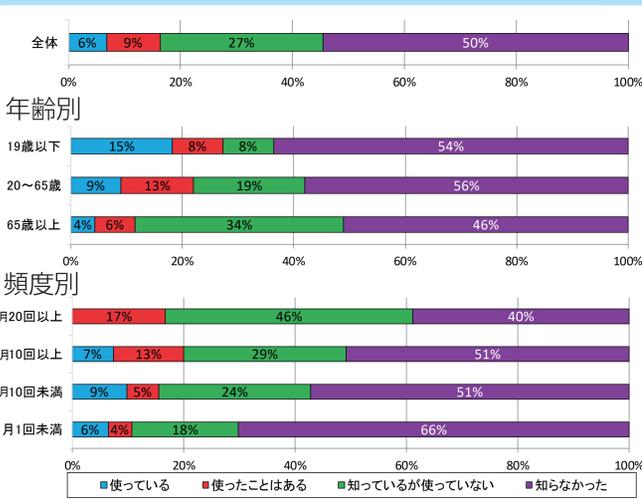
GTFS-JP を整備

2018年1月 くるりんばすが Google マップで検索可能に
2018年6月 名鉄バス日進中央線(旧くるりんばす中央線)が検索可能に

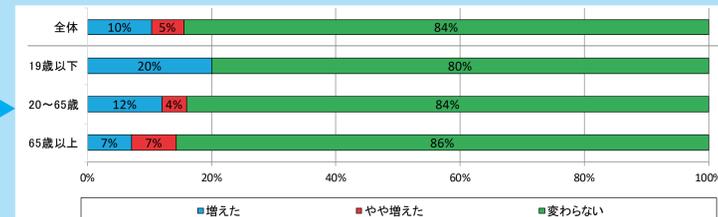
効果

日進市のバス利用者を対象にアンケート調査 整備から1年弱が経過した2018年10月から11月のうちの任意の3日間に、バス利用者アンケートを実施した。

Google マップでバス検索を使っていますか？

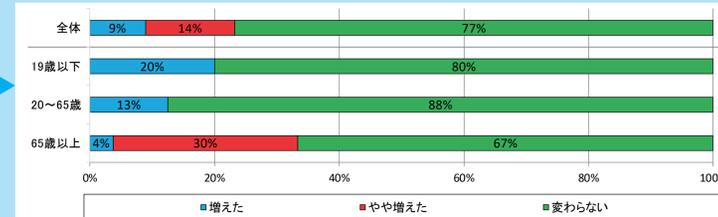


(使っている人のうち) お出かけの頻度は増えましたか？



乗継を考慮した年間利用者数に換算すると約7,000人分のお出かけ頻度が増加する効果

(使っている人のうち) お出かけ先の数は増えましたか？



乗継を考慮した年間利用者数に換算すると約10,000人分のお出かけ先の数が増加する効果

※2018年に実施した利用実態調査で明らかにした1日当たりの実利用者数と1日の延べ利用者数の比率に基づき、年間の延べ利用者数(437,493人)に対する年間の実利用者数を推定(299,832人)。その値にアンケートより得られた回答割合を乗じて増加の効果を計算。

自治体担当者にとっての効果 ・目的地までの行き方に対する問い合わせの回答もスムーズに

今後の取組

GTFS-JP の拡大



周辺自治体の公共交通が網羅的に検索できないと不便

長久手市・みよし市・豊明市・東郷町の GTFS-JP を整備
2018年12月よりコミュニティバスが Google マップで検索可能に

さらなる利用拡大が期待される

今後の課題

- 名鉄バスの大部分が未対応 → 網羅的な整備
- 上記アンケート調査により約半数の人が Google マップで検索できることを認知していない → さらなる周知の必要性
- GTFS-RT 未対応 → 導入検討